

「訪問診療において看護師が同席する意義とメリットについて」

1. はじめに

長年、医師として患者の治療に従事し、6年に亘り在宅療養支援診療所を遣って来ましたが、医師だけで訪問診療を行っているわけではなく、看護師・理学療法士・薬剤師等、さまざまなコメディカルと連携して診断・治療を行ってきました。

1人の患者を取り巻く環境は多様化して来ており、医師がヘルパーや地域との連携を取ることも重要なことになって来ているのです。

入院中の患者においても、他部門と連携を取ることは医師として当然のことではありますが、そこに看護師が介在しているのも事実であります。看護師が、常に医師の陰になり日向になって医師の手助けをしてくれているのは周知のことです。

在宅医療に関しても、訪問看護師という制度があり、在宅医療の患者の面倒を見ているのですが、訪問看護師は医師に同伴すると訪問看護の点数が認められず、ボランティアになってしまうのです。

ですから、在宅医療で看護師を同席させるには、訪問診療の医師が看護師を連れて行くしか方法はありません。

しかし、医師が看護師同伴で訪問診療を行っても、訪問診療の点数は加算されず、現状では、医師の好意で看護師を同席させるということになってしまうのです。

実際に、訪問診療を専門で行っている医師は、ほとんどの場合、医師一人で訪問診療をしているのが実情です。

診断・治療は、医師一人でも充分に出来得る事ですが、治療を継続して行くには、他部門との連携は必須であり、他部門との連携に長けている看護師の存在は重要なことでもあります。

実際には、医療知識・医療経験等の少ないケアマネージャー・ヘルパー・介護職員達に分かりやすく説明出来るのは、看護師しかいないのです。

多くの場合、医師の説明は専門的過ぎて、素人には分かりにくいものなのです。それにこういう説明が上手な医師というのはほとんど居ません。ですから、看護師の介在によって、医師と患者の間を取り持つことが重要になるのです。

訪問診療においても、従来の往診と同じように、訪問診療に

看護師を同伴することで、患者の診察もスムーズに出来、また、他部門との連携もスムーズになり、患者にとってより快適な訪問診療が出来るのではないかと考えました。

以上より、訪問診療に看護師を同席させる意義とメリットについて検証しました。

2. 調査方法

(1) 患者対象（当院が訪問診療を行った患者および家族）

無記名のアンケート方式で実施

対象人数： 98名（住所不明 40名） 回答者35名

(2) ケアマネージャー対象（千代田区・港区・中央区・文京区 の居宅介護支援事業所）

無記名のアンケート方式で実施 対象 157 箇所

3. 患者対象調査の結果

質問 1)在宅医療の満足度を教えてください

1、大変満足している 51%

2、満足している 37%

3、何とも思わない	0%
4、不満に思う	3%
5、未回答	9%

88%の患者が在宅医療に満足していることが分かった。

質問 2) 不満を感じたことがありますか？

医師がすぐに来てくれなかった

やはり、在宅患者の要望に素早く応えられないと、患者の
不満はつものなのでしょう

質問 3) 訪問医への満足度を教えてください(複数回答可)

- 1、すぐに対応してくれた 68%
- 2、親身に話を聞いてくれた 65%
- 3、休日や夜間いつでも対応してくれた 60%
- 4、時間を問わず対応してくれた 28%
- 5、入院先の病院を紹介してくれた 28%

医師の対応に、6割以上の人は満足してくれている

また、患者・家族の話をよく聞くことが満足に繋がっている

質問 4) 訪問医への不満はありますか

訪問看護師との意見が一致せずに困った

医師の対応が遅かった

訪問診療において、訪問診療医と訪問看護師との意見が食い違うことはときどきありますね。もちろん、病院内でも、医師と看護師の意見が違うことがあります。同じ院内に居ますから、意見の違いは段々修正されて行くのです。

しかし、訪問看護師と訪問診療医は、ほとんど会う事はありません。両方で、会おうとして約束でもしない限り、訪問診療において、医師は訪問看護師とは会えないものなのです。

会えない者同士ですから、意見の修正は出来ません。

医師と看護師の間に居る患者は、途方にくれてしまいます。

もう少し、訪問診療医と訪問看護師が現場で会って意見を交換できるように、法改正をして欲しいものです。

質問 5) 訪問診療医に同行する看護師への満足度を教えてください

(複数回答可)

- 1、 いつも気にかけてくれた 57%
- 2、 すぐに対応してくれた 57%
- 3、 親身に話を聞いてくれた 54%
- 4、 医師の話を分かりやすく説明してくれた 28%
- 5、 何度でも説明してくれた 25%
- 6、 看護師なので安心して相談できた 25%
- 7、 患者の世話をよくやってくれた 22%
- 8、 往診ごとにオムツを替えてくれた 6%
- 9、 軟膏を塗ってくれた 3%
- 10、 褥瘡のケアが上手だった 3%
- 11、 食事を食べさせてくれた 3%
- 12、 入浴の手伝いをしてくれた 3%
- 13、 体を拭いてくれた 3%

7以降は、通常の看護業務であるが、自宅で受ける看護に感謝してくれている。もちろん、訪問看護師も同じことをするのであるが、どの看護師がしても、その行為を感謝していることに変わりはないのである。

質問 6) 同行看護師への不満を教えてください

対応が遅かった

質問 7) 医師が一人で訪問診療に来ることの満足度を教えてください

1、満足している 74%

2、満足していない 9%

3、未回答 17%

医師が一人で訪問診療に行くことに、満足している人は 3/4 も居て、訪問診療を医師一人で行うことに、大きな問題は無いのであるし、患者側も大きな不満を感じてないのである。

質問 8) 医師が一人で訪問診療を行うことへの不満を教えてください

医師だけだと相談しにくい

患者側としては、医師より看護師の方が相談しやすいのである

質問 9) 訪問診療に看護師が同行することはいいですか？

- 1、看護師が同行するのはいいと思う 100%
- 2、看護師が同行しない方がいいと思う 0%
- 3、未回答 0%

訪問診療で、看護師が医師に同行することは、患者全員が賛成してくれている

質問 10) 訪問診療に看護師が同行すると、どこがいいと感じましたか？（複数回答可）

- 1、看護師が優しくかつ親切である 42%
- 2、分からないことが聞きやすかった 28%
- 3、看護師の同行が当たり前だと思っていた 25%
- 4、看護師だと気軽に相談できる 17%
- 5、医師より相談しやすい 14%
- 6、採血・注射は、看護師に遣ってもらいたい 9%
- 7、看護師だとオムツ交換をしてもらえる 6%
- 8、看護師だと注射が痛くない気がする 6%
- 9、看護師同行だと訪問診療の準備がいらぬい 6%

10、未回答 9%

1・2・4 は、患者側からの相談であるが、医師より看護師の方が尋ねやすいということである。それに、看護師同行の訪問診療の方が、現場での医師と患者の関係がよくなるようである。

質問 11)看護師の同行があった方がいいと思いますか？

1、看護師の同行は必要である 91%

2、看護師の同行は不要である 0%

3、未回答 9%

訪問診療において、看護師の同行は患者の9割で必要性を認めてくれているし、望まれてもいる。患者側の本心は、看護師が訪問診療に同行して貰いたいのであろう。

4. ケアマネージャー対象の調査結果

対象エリア:千代田区・港区・中央区・文京区内の居宅介護支援事業所へ郵送にてアンケートを配布し、ケアマネージャーに無記名でアンケートに回答してもらった。

配布数:157件 住所不明9件 回答数26件

質問 1)訪問診療医より、居宅療養管理指導書は、毎月、きちんと送付されていますか？

きちんとされている 87%

きちんとされてない 13%

質問 2)その指導書の内容は、分かりやすいですか？

分かりやすい 51%

分かりにくい 41%

どちらとも云えない 8%

質問 3)居宅療養管理指導書の内容に不明点がある場合、その都度、医師に問い合わせを行っていますか？

行っている 67%

行っていない 33%

質問 4)問い合わせを行った際に、医師は的確に分かりやすく

答えてくれますか？

- 1、きさくに分かりやすく答えてくれた 45%
- 2、きちんと答えてくれた 29%
- 3、きちんと答えてくれなかった 4%
- 4、面倒くさそうに答えてくれた 0%
- 5、答えてくれない 0%
- 6、医師が答えずに看護師が答えてくれた 18%
- 7、未回答 4%

質問 5)利用者の急変時に担当医は直ぐに対応してくれましたか

- 1、すぐに対応してくれた 69%
- 2、時間は掛かったが対応してくれた 23%
- 3、ときどき対応してくれた 4%
- 4、対応してくれなかった 4%

訪問医が患者の急変時にきちんと対応してくれないこともあり、
訪問看護師・ケアマネージャー・ヘルパーが困る場面であろう

質問 6)訪問診療に看護師が同席していますか

- 1、看護師が同席している 54%
- 2、看護師が同席していない 33%
- 3、未回答 13%

看護師が同席している訪問診療が半数以上あった

質問 7)訪問診療に看護師が同席する必要があると思いますか？

- 1、看護師が同席する必要がある 80%
- 2、看護師が同席する必要は無い 16%
- 3、未回答 4%

ケアマネージャーも、医師より看護師の方が連携が取り易いので、看護師同席の訪問診療に肯定的である。

質問 8)訪問診療に看護師が同席している場合と同席していない場合と、何か違いがありますか？

- 1、違いがある 75%
- 2、違いが無い 25%

質問 9)訪問診療に看護師が同席している場合、同席していない場合とどう違いますか？(違いがあると答えた方、複数回答可)

- 1、治療方針が分かりやすい 50%
- 2、患者や家族の満足度が違う 50%
- 3、訪問診療に対する安心感がある 16%
- 4、ケアプランが立てやすくなる 8%

以上より、ケアマネージャー側からも、看護師同席の訪問診療に賛成する意見が多いことが分かった

<結論>

訪問診療というのは、入院患者を回診するのと同じで、入院しているベッドが自宅に置いてあるだけのことである。このように考えると、看護師同席の訪問診療は当たり前のことであり、それが訪問診療の理想型と考えられる。

看護師を同席させた訪問診療は、医師・患者・患者の家族・介護するヘルパー・ケアマネージャーにとって、一番望ましい形

であるのは、誰でもが認めていることである。

しかし、保険点数では、医師一人でも、看護師同席の二人でも、何ら変わらないのである。要するに、看護師同席の点数が認められていないのである。ですから、訪問診療を医師一人で遣らうと考える医者が多く居るのは不思議ではありません。

保険診療の基礎となる、保険点数で認められなければ、今後とも、訪問診療を看護師同席で行うことを考える医者が減ってしまうことになります。

いつまでも訪問診療医の好意で看護師同席ということではなく、早期に保険点数の改正をしていただき、訪問診療に医師一人ではなく看護師同席で行けるように、切にお願いしたい。

そのように訪問診療の環境が整っていけば、どの訪問診療医も看護師同席で訪問診療を行うようになって行き、看護師同席の訪問診療が普通のことになってくれるはずです。